

福島県知事 内堀 雅雄 様

産業再生・環境共生  
に関する要請

令和5年7月5日

福島県議会議長 渡辺 義信



本委員会は、「産業再生・環境共生について」調査を付託され、「産業の再生、環境共生及びこれらに関連する事項」の調査を目的として、令和3年12月21日に設置され、県内調査を含む調査活動に積極的に取り組み、活発な調査を進めてきた。

本県は、東日本大震災以降、特に生産年齢人口の減少に加え、若年層を中心とした人口流出が顕著であり、地域産業の担い手不足や人口減少に伴う消費の落ち込みにより商品の販売額の減少が懸念される。また、新型コロナウイルス感染症からの需要の本格的な回復はこれからであり、地域産業に新たな活力を呼び込むためには、交流人口の拡大や若者が魅力を感じる県内企業の育成、にぎわいのあるまちづくりなど、多岐にわたった取組が必要になっている。県当局は様々な対策をしているものの、若者の転出超過が加速するなど課題が続いており、これまで実施した政策の効果等をしっかり検証し、進化させることが求められる。

また、地球規模での温暖化問題が顕在化し、大規模な気象災害等が頻発するなど、気候変動に対する危機感が世界中に広がっていることから、県が実施しているカーボンニュートラルの実現に向けた再生可能エネルギー導入拡大や省エネルギーの推進等の取組は非常に重要であり、全県で一丸となって取り組むことが求められる。

本委員会は、「産業の再生」に関する「生業の再生」については、「観光業・飲食業の再生に関すること」、「地域産業の持続的発展に関すること」及び「もうかる農林水産業の実現に関すること」の視点から、「人材の確保・育成」については、「産業を支える人材の確保・育成に関すること」及び「人の流れづくりに関すること」の視点から、「デジタル変革（DX）の推進」については、デジタル技術の利活用推進と誰一人取り残さない施策の展開の視点から、また、「環境共生」に関する「地球温暖化対策」については、「温室効果ガス排出抑制に関すること」及び「気候変動への適応と推進に関すること」の視点から、「再生可能エネルギーの推進」については、「再生可能エネルギー等の導入拡大に関すること」及び「再生可能エネルギー等関連産業の活性化に関すること」の視点から、「環境と経済の調和」については、持続可能な循環型社会を目指し、環境負荷を軽減する取組の視点から調査を行い、調査報告書を取りまとめたところである。

「産業再生・環境共生」については、長期かつ継続的に取り組むべき課題であるとともに、広範かつ多様な対応が求められる課題であることから、今後とも、県当局においてはその重要性を十分踏まえ、次の提言について、必要な措置を講じられるよう強く要請するものである。

## 1 生業の再生について

### (1) 観光業・飲食業の再生に関すること

- ア 新型コロナウイルス感染症対策に係る県制度資金の回収について、企業の状況等に応じて柔軟に対応すること。
- イ コロナ禍や物価高騰により経営状態が悪化した事業者が、県が実施する支援の網から漏れることのないよう、わかりやすい制度周知を行うとともに支援を必要とする事業者等に関する情報収集に努めること。
- ウ 人手不足が深刻化する観光業界の人材確保のため、観光業に携わる事業者の事業承継、経営能力向上や、従事者の処遇改善に関する支援などあらゆる手段を検討し、実行すること。

### (2) 地域産業の持続的発展に関すること

- ア 地元企業の競争力を高めるため、技術力・開発力強化に関する取組等に加え、生産性・収益性を向上させるための経営支援をさらに進めること。
- イ 地域産業の育成・支援に当たっては、県内企業の経営者の意見を聴取するなどし、事業者から真に求められる施策を展開すること。
- ウ 事業承継について、日頃から県内中小企業等の情報収集に努め、本県における事業承継の課題等を正確に把握し、施策に反映すること。

### (3) もうかる農林水産業の実現に関すること

- ア 新規就農者の支援については、技術・経営に関する支援に加えて、地域全体でサポートする体制づくりをさらに進めること。
- イ 本県農林水産物の競争力を高めるため、農業総合センターや福島国際研究教育機構(F-R-E-I)における農林水産資源の省力生産等に関する研究成果を積極的に公表し、その活用を支援すること。

ウ 市場優位性を高めるため、トップブランド米「福、笑い」及び本県オリジナルのいちごの新品種「ゆうやけベリー」の生産・流通販売対策や、GAP及び有機JAS認証を活用したPRなど、消費者、実需者にとって魅力的かつ「ふくしま」ならではの付加価値化に向けた取組をさらに進めること。

## 2 人材の確保・育成について

### (1) 産業を支える人材の確保・育成に関すること

ア 人口減少や若者の転出超過を抑制するため、これまでの施策の効果等をしっかり検証し、生かすこと。

イ 若者が魅力を感じる企業を多く育てるため、県内事業者の経営力強化や労働環境の整備を目的とした施策をより充実させること。

ウ 若者の転出超過を抑制するため、シビックプライドや郷土愛の涵養に向けた取組を検討し、実行すること。

エ 労働人口が減少している状況下においても地域産業を維持するため、地域特有の課題やコロナ禍における事業課題を抱える県内事業者と、高い専門性や地方貢献意欲を有する都市人材をマッチングさせる取組をさらに進めること。

### (2) 人の流れづくりに関すること

ア 関係人口を拡大する上で、本県に心を寄せてくださる方々と有益な関係を築くため、本県が求めること及び本県に求められることを整理しながら施策を展開すること。

イ 暮らしの情報発信や移住に関するきめ細かな相談体制の構築、住まいに関する支援など、移住希望者を本県に呼び込むための取組をさらに進めること。

## 3 デジタル変革（DX）の推進について

ア デジタル社会を実現し、品質の高いデジタルサービスを提供するため、県及び市町村職員のデジタルスキルを向上させるよう努めること。

イ デジタル技術を使用して施策を展開する際には、すべての県民が平等にその恩恵を受けられるよう配慮すること。

ウ デジタル化の推進に当たっては個人情報の保護について十分に配慮すること。

## 4 地球温暖化対策について

### (1) 温室効果ガス排出抑制に関すること

ア 本県がおかれた状況を県民に理解してもらうための広報活動や、将来を担う子どもたちの環境意識向上のための取組をさらに進めること。

イ 福島県環境アプリについて、教育機関においてダウンロードを呼びかけるなどして、より広く普及するよう努めること。

ウ 成長に優れたエリートツリーを活用した再造林を進め、森林の若返りを図ること。

エ 国際基準や国の方針変更及び科学技術の進歩等に柔軟に対応できるよう、常に情報収集に努めること。

### (2) 気候変動への適応に関すること

ア 気候変動が県民生活に与える影響について、具体的な時期や深刻度、対策等をわかりやすく整理し、公表することで、県民の環境への意識を高めること。

イ 気候変動が県民生活に与える影響は広範にわたるため、令和5年4月に開設された福島県気候変動適応センターが中心となって、各部局と連携して対策を進めること。

ウ 食料を安定的に生産・供給するため、気候変動に強い生産技術・品種開発をさらに進め、その導入を支援すること。

## 5 再生可能エネルギーの推進について

### (1) 再生可能エネルギー等の導入拡大に関すること

ア 再生可能エネルギー等の導入拡大を県内産業の活性化へつなげるためにも、地元企業が求めていることを正確に把握し、施策に反映させるよう努めること。

イ 再生可能エネルギー導入拡大に伴い関連産業が活性化することや非常用電源として活用できる電気自動車が普及することなどによる効果を高めるため、先を見据えた事業展開を心がけること。

ウ 事業の推進に当たっては、国際基準や国の方針等に変更があった際に柔軟な対応を取れるよう、常に情報収集に努め、先を見据えて取り組むこと。

## (2) 再生可能エネルギー等関連産業の活性化に関すること

ア 経年により発電効率の低下した太陽光発電パネルやバイオマス発電により発生する灰の再利用、風力発電施設のメンテナンス等に関する技術開発・研究等に取り組み、新たな産業につなげるなど、常に先を見据えた事業展開をすること。

イ エネルギー・エージェンシーふくしまを核として、企業間のネットワーク構築から新規参入、研究開発、事業化、販路拡大、海外展開まで一体的・総合的に支援し、県内企業の取組をバックアップする施策をさらに進めること。

ウ 再生可能エネルギー関連産業等のニーズや時代の変化に柔軟な対応が取れるよう、再生可能エネルギー先駆けの地として先を見据えながら教育訓練に関する取組をさらに進めること。

エ 県内企業が行う市場のニーズに応じた技術開発や事業化・製品化に向け、技術開発前からのビジネスプラン策定や開発後のフォローアップ、販路開拓まで一体的に支援する取組をさらに進めること。

## 6 環境と経済の調和について

ア 説得力のある広報活動を実施するため、引き続き各部局連携しながら、一貫性のあるメッセージを発信するよう心がけること。

イ 下水汚泥から肥料を作る取組など、限られた資源を有効活用するための研究・開発をさらに進め、その活用を支援すること。

ウ 環境への負荷を軽減し持続可能な農業を実現するため、認証GAP及び有機JASの取得を推進する取組をさらに進めること。